



# 翔べ！松中生

令和5年度 第7号 11月1日発行

## 「行事での成長と今後の改善」

校長 齋藤 明

朝夕は冷える日が多くなりましたが、日中は温かく、過ごしやすい季節はまだまだ続きそうです。さて、先月は7日（土）に稲穂祭、31日（火）に体育祭を開催することができました。

今回は、特別な感染症対策なしで学校行事が無事に開催できました。当日は、多くの保護者並びに地域の皆様にお越し頂き、誠に有り難うございました。

稲穂祭の合唱では、学年ごとの声の成長を感じられる美しい歌声が体育館中に響きました。発表を聞きながら、順位を付けようとしたのですが、金子みずぶさんの「みんなちがって みんないい。」という詩を思い出し、感じ方は人それぞれだし、「すべてのクラスが主役だな！」と思い、じっくりと堪能させて頂きました。

文化部の発表も吹奏楽部の演奏に合わせて、美術部の制作や科学部のロボット紹介、舞台上での踊りなど、工夫した出し物があり、とても楽しませてくれました。

体育祭では、「個人」「クラス」「カラー」の力を全力で出し切りました。何より、自分の頑張りだけでなく、仲間への応援を通じて一体感のある活動が多くあったことがとても嬉しく思います。

2年生が自主的に取り組んできた「息吹」の発表は、競技とは別の集団演技として体育祭に「華」を作ってくれました。みんなで取り組む演技は本当に「カッコイイ」です。来年度は、全校生徒で取り組む演技に発展させたいですね。これらの2つの行事は、実行委員を中心に企画・運営してきました。自分たちの学校の行事を生徒主体で取り組み、創り上げる経験は今後きっと活かされます。長期にわたり活躍してくれた実行委員の皆さん、本当に有り難うございました。

また、10月は中旬から新人戦の県大会も始まりました。陸上部では女子200mで、見事5位入賞を果たしました。野球部は、一進一退の攻防を練り広げるが特別延長戦で0-1の惜敗でした。この試合は、本当に惜しかった。でもみんなよく頑張ってくれた。11月には、卓球・バドミントン・バスケットボールと県大会は続きます。みんなで応援していきましょう！

11月となり、今年度も残すところあと5ヶ月となりました。中学校では4月より、子どもたちの健やかな成長、安心・安全な環境、地域に愛される学校を目指して様々な取組を実施してきました。前年度より、校則の見直しとして、衣替えの廃止、頭髮・靴下・セーター等のルール変更や自転車通学希望者の届け出制、タブレット学習や対応靴、ブレザー用ズボン、相談室への教員配置、宿泊行事への個別対応なども行ってきました。また、年間を通して生徒の不安解消やいじめの早期発見など、生徒へ寄り添う指導として、学期ごとの生活アンケートや節目である5月・8月・2月に教育相談週間を設置し、年6回全生徒の声を確実に教師が聞けるようにしました。また、平日のPTA除草と生徒の環境教育の授業を共働の場としました。さらに部活動の地域移行として、町の剣道連盟との連携を現在進めています。

今後は、今まで踏襲してきた宿泊的行事や校則の見直しを始め、保護者への経済的負担や過度な要求がないよう、常に改善に努めていきたいと思えます。

これからも本校の教育活動への、一層のご理解ご協力をお願いいたします。